

製品安全データシート
SDS/GHS 対応

安定型次亜塩素酸
(マジックガード)

株式会社 光学研究所

安全データシート SDS

整理番号：KGL-DL-004001-200

作成日：2002年10月10日

改定日：2017年05月02日

1・製品等及び会社情報

化学物質等の名称（製品名）：マジックガード

(安定型次亜塩素酸ナトリウム)

次亜塩素酸ナトリウム 100～200ppm

食品添加物規格基準合格 2015年7月22日 No.15070191001

会社名：株式会社 光学研究所

住所：〒601-8188 京都市南区上鳥羽南花名町16-1

担当部門：研究開発室

担当者：佐分利健一

電話番号：075-661-3606

Fax 番号：075-661-3607

作成者：佐分利健一

E-mail：info@kougaku-lab.co.jp

使用目的：除菌・消臭

2・危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外	
	可燃性/引火性ガス	分類対象外	
	可燃性/引火性エアゾール	分類対象外	
	支燃性/酸化性ガス	分類対象外	
	高圧ガス	分類対象外	
	引火性液体	区分外	
	可燃性固体	分類対象外	
	自己反応性化学品	区分外	
	自然発火性液体	区分外	
	自然発火性固体	分類対象外	
	自己発熱性化学品	区分外	
	水反応可燃性化学品	分類対象外	
	酸化性液体	分類できない	
	酸化性固体	分類対象外	
	有機過酸化物	分類対象外	
	金属製腐食	区分外	
	健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外
		急性毒性（経皮）	区分外
		急性毒性（吸入・気体）	分類対象外
急性毒性（吸入・蒸気）		分類できない	
急性毒性（吸入・粉塵/ミスト）		分類できない	
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性		区分外	
皮膚腐食性・刺激性		区分外	
呼吸器感作性		分類できない	
皮膚感作性		分類できない	
生殖細胞変異原性		区分外	

	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分外
整理番号 : KGL-DL-004001-200		
	特定標的臓器毒性 (単回暴露)	区分外 (気道刺激性)
	特定標的臓器毒性 (反復暴露)	分類できない
環境有害性	吸引性呼吸器有害性	分類できない
	水生環境急性有害性	区分 4
	水生環境慢性有害性	区分 4
	オゾン層有害性	分類できない
GHS ラベル要素		
絵表示又はシンボル	なし	
注意喚起語	別に定めなし	
危険有害性情報	水生生物に大量に与えない限り有害性はない。	
注意書き [安全対策]		
	容器は密閉しておくこと。	
	河川・海に投棄しないこと。	
[応急処置]		
	眼に入った場合 :	
	真水で洗うこと。	
	皮膚又は毛髪に付着した場合 :	
	問題は発生しない。	
	吸入した場合 :	
	問題は発生しない。	
[保管]		
	容器は密閉する。	
[廃棄]		
	水道水で 20 倍程度希釈後に下水へ流す。	

3. 組成・成分情報

化学物質

単一/混合物

混合物

成分

次亜塩素酸ナトリウム

(Sodium Hypochlorite) (水溶液、濃度が 100~200ppm のもの)

化学式

次亜塩素酸 NaOCl

含有成分及び含有量

成分・化学名	含有量	CAS No.	化審法 No	安衛法 No.	PRTR 法 No	毒劇法 No
次亜塩素酸ナトリウム	0.01~0.02%	7681-52-9	非該当	非該当	非該当	非該当

4. 応急処置

眼に入った場合 :

流水で洗う。

皮膚に付着した場合：
問題は生じない。

整理番号：KGL-DL-004001-200

吸入した場合：
スプレー・ミストを吸入しても問題は生じない。

飲み込んだ場合：
口をすすぐ程度。

予想される急性症状及び遅発性症状：
なし

5. 火災時の処置

消化剤： 本製品は不燃性である。
大量の水

特有の消火方法：
特に定めない

消火者の保護： 特に定めないが、火災の鎮火に努める。

6. 漏出時の処置

人体にたいする注意事項、保護具及び緊急的措置：
漏出区域を多量の水で洗い流す事。
希釈された水が河川、海洋に流出しないように注意する事。

環境に対する注意事項：
河川等に排出され、環境への影響を起こさないように大量の水を用いて洗い流す。

封じ込め及び浄化の方法・機材：
大量に漏れた場合、大量の水で希釈する。

二次災害の防止策：
特に定めない。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意：
技術的対策： 特に定めない。

注意事項： 酸類と混合しない、微量ながら塩素ガスが漏出る可能性がある。

安全取扱注意事項：
容器は密栓し、直射日光の当たる場所や高温になる場所を避けて保管する。

安全な容器包装材：
特に定めないが、紫外線カットのポリエチレン又は塩化ビニール容器で保存する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度： 未設定

許容濃度： 未設定

設備対策： 特に定めない。

保護具： 特に定めない。

衛生対策： 特に定めない。

9. 物理的及び化学的性質

外観・形状： 無色透明

整理番号：KGL-DL-004001-200

臭気： なし

溶解度： 水に溶解

融点： データなし

沸点、初留点、沸騰範囲：
加熱により分解する

密度（比重）： 1.00

pH： 9.6～10.5

引火点： 不燃性

自然発火温度： 不燃性

爆発範囲： データなし

蒸気圧： データなし

分解温度： データなし

蒸発温度： データなし

燃焼性： 該当しない

粘度： データなし

10. 安定性及び反応性

安定性： 通常条件では安定、直射日光が当たると徐々に分解し有効塩素を失う。

危険有害反応可能性：
弱酸・強酸と反応して微量な塩素ガスが発生する可能性がある。

避けるべき条件： 鉄製の容器は使用しない。

混触危険物質： 酸との接触により微量の塩素ガスを発生する可能性がある。

危険有害な分解生成物：
酸との混合により微量の塩素ガスが発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性： 経口：ラット LD₅₀ = 8910 mg/kg (Patty, 2001), >5,000mg/kg (IUCLID, 2000)はいずれも区分外に該当する。

経皮：ウサギ LD₅₀ > 1000mg/kg (IUCLID,2000) より区分外。

吸入：(蒸気)ラット LD₅₀ >10.5mg/L (IUCLID,2000)のデータがあるが暴露時間が不明のため分類できない。

皮膚腐食性・刺激性：
ウサギを用いた試験(OECD TG404)に於いて紅斑と浮腫の刺激性スコアがあるが、無視できる濃度のため区分外とする。

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：
ウサギを用いた試験(OECD TG404)に於いて紅斑と浮腫の刺激性スコアがあるが、無視できる濃度のため区分外とする。

呼吸器感作性： 情報なし

皮膚感作性： 情報なし

生殖細胞変異原性：マウスの骨髄を用いた染色体異常試験、異数性試験 (IARC,1991)において陰性であったため区分外とした。

発がん性： IARC がグループ 3 に分類していることにより区分外とした。
 生殖毒性： ラットを用いた経口投与による 7 世代繁殖試験において親動物の生殖能力にたいする影響、胎仔に対する影響は見られなかった。区分外とする。

整理番号：KGL-DL-004001-200

特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）：

ミストの吸入によって咳と窒息を生じ、気道刺激と肺水腫をおこす可能（HSDB, 2003）と記載されているが、低濃度のため区分外とする。

特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）：

ラットの飲水による 6 週間の試験（容量、20, 40, 80mg/L, 90 日換算。0.047, 0.93, 1.87mg/kg において体重の変化、ラットの強制経口による 14 日間に於いて腎臓の重量変化は認められなかったので分類出来ない。

吸引性呼吸器有害性：情報なし。

12. 環境衛生情報

生態毒性：

水生環境急性有害性：

甲殻類（ネコゼミジンコ属）の 24h-EC50=0.005mg/L 塩素濃度、であることから、大量の水で希釈しても直接河川等へ流さない。

水生環境慢性有害性：

長期にわたって河川、海洋等に流さない限り影響はない。

残留性・分解性

残留するが、有機物と反応して分解される。

土壌中の移動性： データなし

生態蓄積性： データなし

13. 廃棄上の注意

20 倍以上の水道水で希釈して下水に流せば問題は生じない。

汚染容器及び放送：

容器は清浄にしてリサイクルする。

14. 輸送上の注意

国際規制

IMDG（国際海上危険物規制）非該当

国連番号： 非該当

品名（国連輸送名）：

次亜塩素酸ナトリウム濃度 0.01~0.02 質量%のもの

国連分類： 非該当

容器等級： 非該当

海洋汚染物質： 非該当

ICAO-TI（国際民間航空機関紙術指針）

次亜塩素酸ナトリウムを含む製品は原則積載禁止

国内規制：

陸上輸送： 非該当

海上輸送： 非該当

安全対策： 取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従うこと
 容器は転倒、転落、衝撃などを避けること。
 容器は温度の上昇を防止すること。

整理番号：KGL-DL-004001-200

国連番号	非該当
品名	次亜塩素酸塩ナトリウム（水溶液）
クラス	非該当
容器	非該当

15. 適用法令

労働安全衛生法：	非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)：	非該当
毒物及び劇物取締法：	非該当
消防法：	非該当
船舶安全法：	非該当
航空法：	腐食性物質と見なされるため原則積載禁止 海洋汚染防止法 非該当
水質汚濁防止法	非該当

16. その他の情報 I 引用文献等

配合原料の SDS（安全データシート）	
労働安全衛生法 SDS 対象物質全データ	化学工業日報社(2007)
化学物質の危険・有害便覧	中央労働災害防止協会
化学大辞典	共同出版社
化学物質安全性データブック	オーム社

※注意

安全データシートは、全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。

記載事項は通常の取り扱いを対象としたもので、特殊な取り扱いをする場合には適切な安全対策を実施した上、お取り扱い願います。

従って、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。